

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
理科	生物基礎・生物	2	4	選択

到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、化学的な見方や考え方を養う。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	生物基礎 第1部 生物の特徴 第1章 生物の共通性と多様性 第2章 細胞とエネルギー 第2部 遺伝子とその働き 第1章 遺伝情報とDNA 第2章 遺伝情報の分配 第3章 遺伝情報とタンパク質の合成	最初は「生物基礎」の内容です。生物を細胞1つのレベル、さらに細かく分子のレベルで勉強していきます。特に細胞の構造と、遺伝情報の伝達は全ての生物に共通の仕組みなので、基本をしっかりと理解してください。	
1学期期末	第3部 生物の体内環境の維持 第1章 体内環境と恒常性 第2章 体内環境の維持のしくみ 第3章 免疫 第4部 生物の多様性と生態系 第1章 植生の多様性と分布 第2章 生態系とその保全	次は、細胞が集まった一つの生物、つまり「個体」のレベル、さらに様々な個体が集まった「生態系」のレベルに対象が広がっていきます。特に生態系は多くの生物が相互に作用しあってバランスが保たれています。その保全の大切さをよく考えてください。	
2学期中間	生物 第1部 生物の進化 第1章 生物の進化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性	2学期からは生物基礎の内容を発展させた「生物」に移っていきます。まずは、生物が共通の祖先から進化したという考えの根拠と、新しい個体を作り出すための生殖方法について学びます。	
2学期期末	第3章 進化の仕組み 第4章 生物の系統	ここでは、共通の祖先から進化し、多様な種が存在する生物の進化の仕組みと生物の分類の方法を学びます。	
学年末	第2部 生命現象と物質 第5章 生命と物質	生命の基本単位である細胞は物質からできており、細胞の働きに伴う化学反応は、物理や化学の法則に従って進行します。細胞の働きを、分子レベルで考えます。	第6章からは3年「生物」で勉強します

評価方法と評価のポイント	知識・技能・・・定期考査等 思考・判断・表現・・・定期考査等 主体的に学習に取り組む態度・・・提出物、小テスト等
---------------------	----------------------------------------------------------------

教科からのアドバイス

「生物基礎」でおおまかな内容をつかみ、「生物」でより発展的な内容を勉強していきます。生物は様々な要素が複雑に作用しあって生きています。基礎の内容から段階を追って理解していくようにしましょう。

